

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)
「中国文化とアジア世界の文化共生」研究会

服飾から民族文化の歴史を読み解く —花嫁衣裳を中心に—

講師 屈雅君 氏

陝西省師範大学 婦女文化博物館館長

概要：

花嫁衣裳は、最も華やかな女性の民族衣裳である。かつて女性は、原料を栽培し、糸を紡いで布を織り、長い時間をかけて家族の衣裳を縫い上げた。花嫁衣裳は、母から娘に伝えられたその技術の集大成であり、そこには民族独自の価値観や歴史が表現されている。中国で唯一、初の婦女文化博物館の館長であり、長年にわたって中国諸民族の衣裳を収集、研究してこられた屈教授が、多くの写真資料を用いて花嫁衣裳に表出された民族文化を読み解く。

2006年10月14日(土) 14:30~16:30
愛知大学名古屋校舎 研究館3階第6講義室

* 受講対象： ICCS関係者、学内者

* 講演は中国語でおこないます(通訳：松岡正子(本学現代中国学部教授))

【主催】愛知大学国際中国学研究センター

【お問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370

Tel : 0561-36-5637 (内線 2862) Fax : 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料